

栄えある受章 おめでとうございます

旭日単光章

農業振興功労

植村 菊郎さん (71)
(浦村町)



平成 13 年から鳥羽市農業委員を務め、平成 22 年からは同委員会長として現在まで、地域農業の振興・発展のために尽力されました。

受章の声

令和初の受章は大変光栄で、うれしく思っています。鳥羽は半農半漁の地域であるため、水田が放棄されることで農地が開発され、海の生態系に影響が及ばないか懸念しています。今後も、農業者の高齢化や担い手不足、獣害などさまざまな問題に取り組み、農地を守っていきたいです。

Toba city

まちの話題



かもめ幼稚園の園児らブルーベリー満喫

5月29日、かもめ幼稚園の園児ら32人が畔蛸町の「みのなる森とこよの郷」でブルーベリーの摘み取り体験をしました。

ブルーベリーを摘み取って食べた子どもたちからは「甘酸っぱくておいしい」「ほっぺたが落ちそう」など喜びの声があがりました。同施設代表の小田徳彦さんは「今年は寒暖差が大きく、一週間ほど遅く収穫時期を迎えましたが、おいしく育った」と話してくれました。

700本の植木が並ぶ農園内には13品種のブルーベリーがあり、8月末ごろまで摘み取り体験が楽しめます。



スタンプラリーで減災教育

6月13日、鏡浦小学校の4～6年生の14人が東北大学減災教育「結」プロジェクトの出前授業を受けました。

授業ではCGや実験映像を見て地震や津波、台風のメカニズムを知り、減災ハンカチを使って防災・減災の大切さを学びました。また、防災・減災スタンプラリーで災害時にどんな行動が大切かを考えながら各ポイントを回ることで防災意識を高めました。

参加した5年生の浅尾悟鳳さんは「楽しく勉強できた。すぐ逃げられるように家族と話したい」と感想を話してくれました。



ハガティ駐日米国大使 ミキモト真珠島訪問

6月19日、ウィリアム・F・ハガティ駐日米国大使がミキモト真珠島を訪問しました。

今回の訪問は、日米親睦交流を目的に2日間の日程で三重県各地を訪問するもので、駐日米国大使の鳥羽市への訪問は前任のケネディ大使の訪問以来5年ぶりとなります。

家族とともに来訪したハガティ大使は出迎えた株式会社御木本真珠島の松田音壽社長や中村市長らと記念撮影を行い、真珠博物館などを見学しました。